

# 日本鉄鋼協会記事

## 企画委員会

**第7回委員会** 開催日：1月21日。出席者：瀧崎委員長，ほか19名。

1. 「学生と鉄鋼」についての懇談会報告検討の件  
理工系学生のための工場，研究所の見学会については1月29日に実行案の検討を行い，2月15日に支部長との意見交換をする。修士卒業論文を講演大会の場で発表させる件については1月28日宮川編集委員長他的小グループで検討願う。研究助成金の増額については1月22日の特別資金運営委員会で検討願う。以上のとおり進捗状況の報告があつた。

2. スウェーデン鉄鋼セミナーの件  
4月にスウェーデンとの鉄鋼セミナーを予定している。受入れ体制等WGを作り検討することになつた。

## 研究委員会

**第5回委員会** 開催日：1月11日。出席者：岡田委員長，ほか24名。

議題

1. 鉄基研・高純度鋼部会ならびに鉄鋼の急速凝固部会活動報告
2. 昭和61年度・鉄基研・新規テーマの選出
3. 昭和60年度・特基研・新規テーマの選出

## 編集委員会

**第5回編集運営委員会** 開催日：1月16日。出席者：宮川委員長，ほか17名。

1. 昭和59年度依論文賞候補論文として39件があげられ，各論文に対して5名ずつの評価者が選定された。

**第10回和文会誌分科会** 開催日：1月11日。出席者：宮川主査，ほか26名。

1. 13件の論文審査報告がなされ，掲載決定7件，照会后掲載可3件，その他3件であつた。
2. 「鉄と鋼」第71年第7号(5月号)に論文10件，技術報告3件掲載決定した。

**第10回欧文会誌分科会** 開催日：1月10日。出席者：大森主査，ほか14名。

1. 14件の原稿につき審査報告がなされ，掲載可2件，修正依頼9件，返却3件であつた。

## 共同研究会

**第79回圧延理論部会** 開催日：11月8～9日。開催地：日新・呉。出席者：中川部会長，ほか125名。

板圧延関係発表15件(うち表面欠陥について2件)，加工冶金に関する発表4件，管圧延について1件の合計20件の発表が行われた。また特別講演として，呉製鉄所圧延部長，武井邦男部長より「呉製鉄所における圧延技術の進歩」について講演をしていただいた。おのおの

報告について活発な質疑があり時間配分をやりくりして終了した。

最後に圧延工場を見学させていただき盛会のうちに終了した。

## 鋼板部会

**第40回コールドストリップ分科会** 開催日：12月13～14日。開催地：鋼管・京浜。出席者：藤原主査，ほか115名。

鋼管・京浜にて開催。操業成績以外に，アンケートテーマとして，「ロールについて」を討議し，自由議題として各社よりハイクロームロール，クロムメッキロールなど新しい試みが発表された。また今回は20周年を記念して京浜製鉄所副所長緒方公明殿より「京浜製鉄所における冷延工場のリフレッシュ」について特別講演をいただき，最後に酸洗ラインおよび冷延工場を見学し盛会裡に終了した。

## 設備技術部会

**第31回圧延設備分科会** 開催日：12月13～14日。開催地：住金・小倉。出席者：中田部会長，坂戸主査，ほか183名。

住金・小倉で開催，今回は共通議題として「品質向上を背景とした保全技術(線棒編)」と「難燃性及び不燃性作動油を使用した油圧機器のトラブル事例」の2テーマについてレクチャーを含めて討論を行つた。

更に「圧延機の駆動系におけるクロスピン型ユニバーサルジョイント」と「圧延工程におけるセンサーの現状と将来の動向」について専門メーカより講演をいただいた。

参加人員は延183名で過去最高で開催地はたいへんな苦勞をされスムーズな運営が行われた。

また懇親会では「ぎおん大鼓」を紹介いただき参加者一同感激の中に終了した。

**第9回鉄鋼の環境強度部会** 開催日：11月16日。出席者：駒井謙治郎，ほか19名。

部会の共通試験のデータがかなり出てきており今後これら結果のとりまとめを行うための作業グループの編成などを含めて，今後の部会活動指針が部会長より提示され委員の承認を得た。また今回も共通試験についての多くのデータが各委員より報告され活発な討議を行つた。

## 第2回国際鉄鋼技術委員会

開催日：12月24日。出席者：石原委員長，ほか9名。  
1984年10月米国・シカゴにて行われたIISI技術委員会のSteering Group Meetingの内容に関し，石原委員長より報告された。

### 日本圧力容器研究会議

第 28 回非破壊試験専門委員会 開催日：12月21日。

出席者：雑賀委員長，ほか 12 名。

議題

1. PISC II Managing Group Meeting 出席報告
2. 昭和 60 年度予算案について

第 34 回圧力容器用鋼材専門委員会 開催日：1月10日。

出席者：小指委員長，ほか 11 名。

議題

1. 共同研究 中間報告（試験担当各委員）
2. Interim Report to PVRC
3. TMCP 鋼調査の進め方
4. PVRC の活動状況紹介
5. 昭和 60 年度予算案について

～．～．～．～．～．～．～．～．～

### 吉田村に「たたら」を中心とした郷土資料館

本会では昭和 44 年秋に島根県飯石郡吉田村で「たたら製鉄復元実験」を行つたが，この吉田村で「麗わしいふる里づくりと文化の伝承」をテーマにした郷土資料館が昭和 59 年 11 月 3 日に開館した。

同村では近隣 3 カ村合併 30 周年を迎え記念事業の一環として，資料館建設を立案し場所を探していたところこの計画を知つた医師常松篤氏から，郷土のために役立つならばと私財（土地，建物）の寄付申入れが村にあり計画が実現したものである。

藤井豊村長は，開館式でその喜びを「常松篤氏の好意を尊重し，たたらと共に歩んできた吉田村の歴史と文化遺産を収集し，社会教育の場とし，また科学技術の生きた資料館としたい」と語つている。

常松邸といえば，復元実験当時大勢の研究者，技術者が寝食のお世話になつた白壁の母屋に土蔵という日本古来の風格を持つお屋敷である。

たたら製鉄に関心のある方々をはじめ会員各位にも一見に値いすると思ひここに紹介した。

なお吉田村ではたたらに関する展示品を募集しておりますのでご協力をお願いします。

場所：島根県飯石郡吉田村 Tel. 08547-4-0043

問合せ先：吉田村総務企画課 Tel. 08547-4-0211



写真上，下 吉田村郷土資料館の展示品

### Second European Congress on Electric Steel Making

1. 主催 Associazione Italiana di Metallurgia
2. 期日 1986 年 9 月 29 日～10 月 1 日
3. 場所 Florence, Italy
4. 会議の主題 Steelmaking in the electric arc furnace
5. アブストラクト
  - (1) 語数：500～1000 語
  - (2) 使用言語：イタリア語・英語・フランス語・

ドイツ語より選択

(3) 締切日：1985 年 3 月 30 日

6. アブストラクトの送付先ならびに詳細についての問い合わせ先は下記の通りです。

Secretariat of the Second European Congress on Electric Steel Making

c/o Associazione Italiana di Metallurgia  
piazza Velasca 8, 20122 Milano, ITALY

Tel. (02) 860972-861696